



《コロナに負けない 松山っ子(新しい学校生活)》



日 課	児 童	学 校
朝(家庭)	健康観察(検温→健康チェックカード記入) ※押印またはサインをお願いします。	
登 校 時	・密注意(密集・密接) ・登校時お互いにきより(1メートル以上)をとって、会話を控えて交通安全に気を付けて登校	校内・校区内巡視
学 校 着	①児童玄関に密集しない ②手洗い(教室に入る前に)	児童玄関、教室等で児童管理
朝 の 会	①健康観察 ②健康チェックカード確認	①健康観察(検温未実施の場合は教室内で検温、体温計は使用後消毒) ②健康チェックカード点検 ③マスク所持について確認
1 校 時	<ul style="list-style-type: none"> ・マスク着用 ・前向き ・教室の窓開放(常時換気) ・3密注意(密閉・密集・密接) ・学習活動の工夫 ・必要に応じて、適時水分補給 	
2 校 時		
業 間	<ul style="list-style-type: none"> ・全員手洗い(教室に入る前やトイレの後) ・屋外遊び(遊具は使用可、密集・密接をさける運動) ・室内遊び(密接会話をさける) ・マスク着用 ・教室の窓開放(常時換気) ・3密注意(密閉・密集・密接) 	
3 校 時	<ul style="list-style-type: none"> ・マスク着用 ・前向き ・教室の窓開放(常時換気) ・3密注意(密閉・密集・密接) ・学習活動の工夫 ・必要に応じて、適時水分補給 	
4 校 時		
給 食	<ul style="list-style-type: none"> ・全員手洗い(教室に入る前やトイレの後) ・食器を取りに行く(各階ごとに、1学年ずつ順番に食器置き場まで取りに行く) ・配膳時、全員マスク着用 ・配膳人数・方法の工夫(3密注意) ・前向きで静かに食べる ・教室の窓開放(常時換気) ・給食が終了した児童から自分の机で児童同士のきよりをとって歯みがき(うがいは、一つおきの蛇口を使って、飛沫を飛ばさないように低い姿勢で) 	
昼 休 み	<ul style="list-style-type: none"> ・全員手洗い(教室に入る前やトイレの後) ・室外遊び(密集・密接をさける) ・室内遊び(密集・密接な会話をさける) ・マスク着用 ・教室の窓開放(常時換気) ・3密注意(密閉・密集・密接) 	
清 掃	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃(会話をせずに静かに、分担するなど児童同士のきよりをとって) ・マスク着用 ・窓などの開放(常時換気) ・清掃後全員手洗い 	
5 校 時	<ul style="list-style-type: none"> ・マスク着用 ・前向き ・教室の窓開放(常時換気) ・3密注意(密閉・密集・密接) ・学習活動の工夫 ・必要に応じて、適時水分補給 	
6 校 時		
下 校 時	<ul style="list-style-type: none"> ・3密注意(密閉・密集・密接) ・下靴にはきかえて、すみやかに下校 	校内・校区内巡視
放 課 後	不要・不急の外出自粛	校内の消毒

【健康観察】 ○毎朝の検温と風邪症状等の確認をしていただき、健康チェックカードに押印またはサインをお願いします。

【手洗い】

○流水とハンドソープ(石けん)を使って、両手首、指先まで丁寧に手洗いをします。

【学習活動の工夫】

○特別教室(音楽室、理科室、家庭科室、図書室)での授業は、複数学年の感染予防のため、当分の間実施を控えます。

○各教科等の指導について、感染症対策を講じてもお感染の可能性が高い学習活動については、年間での実施時期を入れ替えるなどして実施を見合わせる場合があります。

・音楽科における狭い空間や密閉状態での歌唱指導や身体の接触を伴う活動

・家庭科における調理等の実習

・児童が密集して長時間活動するグループ学習

・体育科における児童が密集する運動や近距離で組み合ったり接触したりする場面が多い運動。体育科の授業では、できるだけ屋外での活動や体育館においても換気、不必要な会話を避ける、児童同士の間隔を広く取るなどの指導をします。

【校内の消毒】

○児童がよく触れる場所を毎日、随時または放課後、教員で消毒します。

(例)教室のドアや窓(ドアノブ)、教卓、スイッチ、水道の蛇口、階段手すり、トイレ水洗レバー等

【児童が発熱した場合】 ○保健室で検温・問診します。保護者の方に連絡をしますのでお迎えをお願いします。

【新型コロナウイルスに関する指導】 ○発達段階に応じて、差別や偏見が生じないように配慮し、指導します。

【ウォータークーラー】

○ウォータークーラーは、当分の間使用禁止とします。水筒を忘れずに持たせてください。

(夏の熱中症対策のため、今後の状況によって使用の仕方を変えて可とする場合もあります)

※ご家庭でも、みえるところにはっておいてください。